

令和 3 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

まちづくり目標	輝くまち	政策名	魅力発信と交流のまちづくり						
施策 No.	22	施策名	観光の振興						
主管課名	商工観光課								
関係課名	企画政策課、情報広報課、地域協働課、農林水産課、生涯学習・スポーツ課、埋没林博物館、水族博物館								
10年後の目指す姿	地域の魅力が広く国内外へ発信され、魚津市の認知度が高まり、観光客が増加しています。								
施策の現状及び課題	現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・魚津まつりなど、大勢の人が来場する観光イベントを年間通じて開催しています。また、観光誘客のための出向宣伝を行っています。 ・観光客の受け入れ体制充実のため、観光協会の運営支援や観光スポットの整備を行っています。 ・近隣自治体と連携し、主に海外からの観光誘客促進に取り組んでいます。 							
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけに、観光事業全般においても新しい生活様式を踏まえることが必要とされています。 ・観光客のニーズを把握して受け入れ体制を整備し、来訪者の満足度を高める必要があります。 ・観光振興事業を効果的に実施するため、様々なデータを分析・活用する必要があります。 ・広域観光の情報を効果的に発信し、誘客に結び付けることが期待されています。 							
施策を進めるための役割分担	行 政	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源の磨き上げと新たな地域資源の発掘に取り組みます。 ・観光PR活動をはじめ、ホームページや観光ガイドなど情報インフラの整備を促進します。 ・インバウンドに対応した受け入れ体制を充実させます。 							
	市 民 ・ 事 業 所	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の観光資源に誇りを持ち、自ら情報発信します。 ・観光客におもてなしの心をもって接します。 							
目指す姿の実現のための取組（基本事業）	基本事業①	地域資源のブランド力向上							
	基本事業②	地域の魅力発信体制の整備							
	基本事業③	イベント・受け入れ体制の充実							
	基本事業④	広域観光ネットワークの振興							
施策の トータルコスト	区 分		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	10 (10)					
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	4 (4)					
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	3 (3)					
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	2 (2)					
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	1 (1)					
	B. 事業費（事務事業の事業費合計）		千円	106,422					
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	10,165					
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	7,874					
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円	82,962					
基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円	5,421						
C. 施策に携わる正規職員数合計		人	23						
D. 事務事業に要する年間総時間		時間	7,500						
E. 人件費（D×1時間あたりの平均人件費）		千円	32,100						
F. トータルコスト（B+E）		千円	138,522						
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の		円	2,629					
	G. 事業費（定義式：B/人口）								
	同 上		円	793					
	H. 人件費（定義式：E/人口）								
同 上		円	3,422						
I. トータルコスト（定義式：F/人口）									
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	4,280					
	魚津市の人口（各年度12月末時点）		人	40,477					

基本事業概要シート①

施策 No.	22	施策名	観光の振興
基本事業名	①地域資源のブランド力向上		
基本事業の目的(意図)	観光資源の磨き上げを図ると同時に新たな地域資源を発掘し、魅力の向上に取り組んで魚津ブランドを創出します。また、観光資源の特徴を活かしながらネットワーク化し有効に活用します。		
令和3年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【観光・物産宣伝事業】(施策22③再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、よっしゃ来い!!CHOUROKUまつりや戦国のろし祭り、漁火まつりは中止となりましたが、じゃんこい魚津まつりを縮小して開催した代替イベントや魚津の朝市、イルミラージュUOZUの開催に支援を行い観光誘客に努めました。 ・魚津がロケ地となった映画1作品のPRキャンペーンに協力し、ロケ地マップ及びパンフレットの配置やポスター掲示を行い、市内施設で行われた上映会の開催に協力しました。 <p>【食泊連携事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度から3か年計画で地方創生推進交付金を活用し、とやま観光推進機構と連携し「食の磨き上げ支援プロジェクト」を実施。紅ズワイガニ等のブランドの磨き上げの検討や観光客が求めるニーズ調査と分析、市内観光関連事業者とともに氷見市への先進地視察を行いました。 <p>【産業観光推進事業】(施策26①、27①再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内事業所の魅力を伝える産業観光ツアーについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催には至りませんでした。 <p>【ふるさと納税推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付WEBサイト数を7サイトから8サイトに、また、返礼品数を345品から579品に増やすなど寄附者の利便性の向上やニーズに合わせた商品の開発、地域産業の活性化に努めました。 		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
観光消費額	百万円	7,301	4,194	7,423 4,354	7,300	7,700	8,100	8,500	(8年度8,880)
産業観光実施事業者数	箇所	5	0	6 0	6	6	6	7	10

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和3年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 産業観光推進事業	134,000	0	134,000	B	商工観光課
2	一般会計	○ 観光・物産宣伝事業	11,355,390	8,711,485	2,643,905	A	商工観光課
3	一般会計	○ 食泊連携事業	3,000,000	1,453,861	1,546,139	B	商工観光課
4	予算なし	埋没林博物館交流拠点活用事業	0	0	0	-	埋没林博物館
5	一般会計	○ ふるさと納税推進事業(施策3①再掲)	(500,004,000)	(434,269,000)	(65,735,000)	A	企画政策課
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			14,489,390	10,165,346	4,324,044		

基本事業概要シート②

施策 No.	22	施策名	観光の振興
基本事業名	②地域の魅力発信体制の整備		
基本事業の目的(意図)	観光宣伝のため、様々な情報発信ツールを特性に合わせて効果的に活用します。また、新しい生活様式を踏まえた上で、観光客のニーズに合わせた観光ガイドや観光コースの充実を図ります。		
令和3年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【シティプロモーション事業】(施策2①再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津の情報を掲載したリーフレットを作成し、県外の魚津ゆかりの方々や企業へ配布し、専用ホームページの運用などを行いました。 ・約3分間のシティプロモーション動画を制作しました。 <p>【受入体制整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光協会及び観光案内所の支援を行うとともに、レンタサイクル「みらくる」の貸し出しや蜃気楼展望地での清掃員・解説員の配置を行いました。 <p>【インバウンド推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により渡航しての現地PR等は中止とし、多言語版観光情報サイトへの掲載・情報発信や誘客用プロモーション動画の制作、SNSを活用した広告配信等、受入体制整備を軸に事業を実施しました。 ・地域活性化起業人として民間旅行会社から社員1名を受け入れ、観光専門分野のノウハウや知見や人脈を活かして、台湾旅行会社への教育旅行ニーズ調査やインバウンド導入準備調査として旅行商品造成担当者を招聘し、現地視察を行いました。 <p>【食泊連携事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊者への情報提供を目的とした、魚津駅周辺の飲食店情報を盛り込んだ飲食店マップを更新し、市内宿泊施設等に配布しました。 <p>【広域観光連携事業】(施策22④再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新川地域観光開発協議会(事務局:魚津市商工観光課)に参加し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により従来型の首都圏や関西等における観光宣伝活動の代替事業として、県内観光地やショッピングモールでの出向宣伝や県外施設において委託による地域の特産品販売や観光PRを行いました。 ・にいかわ観光圏協議会(事務局:黒部市商工観光課)に参加し、Webメディアを活用したにいかわ地域の誘客促進や360° VR動画を出向宣伝等で活用できるようVRゴーグル機器を購入等を行いました。 		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
観光客入込数	千人	1,536	881	1,557 923	1,536	1,567	1,598	1,630	1,700 (8年度1,663)
魚津市観光協会HPアクセス数	千件	314	125	240 123	321	328	335	342	(8年度350)

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和3年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	○ インバウンド等推進事業	6,800,000	6,625,560	174,440	A	商工観光課
2	水族館事業特別会計	水族博物館広告宣伝事務	1,070,598	688,380	382,218	-	水族博物館
3	一般会計	埋没林博物館観客誘致事業	1,552,000	559,816	992,184	-	埋没林博物館
4	一般会計	○ シティプロモーション事業(施策2①再掲)	(2,196,000)	(2,194,598)	(1,402)	B	情報広報課
5	一般会計	○ 受入体制整備事業(施策22③再掲)	(21,321,610)	(19,221,160)	(2,100,450)	A	商工観光課
6	一般会計	○ 食泊連携事業(施策22①再掲)	(3,000,000)	(1,453,861)	(1,546,139)	B	商工観光課
7	水族館事業特別会計	水族博物館観客誘致事業(施策14③再掲)	(151,855)	(151,855)	(0)	-	水族博物館
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
合 計			9,422,598	7,873,756	1,548,842		

基本事業概要シート③

施策 No.	22	施策名	観光の振興
基本事業名	③イベント・受け入れ体制の充実		
基本事業の目的(意図)	多くの人が集まり、交流し、賑わいが生まれる祭りや各種イベントを開催・支援します。また、観光案内サインやガイドの充実など満足度を高める受け入れ体制の整備を進めます。		
令和3年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【受入体制整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度から8年度までの5年間を期間とする「第3次魚津市観光振興計画」を策定しました。 東山円筒分水槽への誘導をスムーズにするため、市内5カ所に日本語と英語に対応した誘導案内看板を整備しました。 新型コロナウイルス感染症の影響で著しく減少している市内宿泊施設の需要喚起のため、観光誘客促進事業として宿泊割引事業(魚旅キャンペーン)を行いました。 サイクリストが快適で安心して宿泊できる環境整備を促進するため、県が実施する「サイクリストに優しい宿」の認定を受け、かつ「サイクリストに優しい宿整備補助金」を活用する市内宿泊施設に対して追加で補助金を交付しました。併せて市内の公共施設を中心に地場産木材を活用したサイクルラックを整備しました。 <p>【コンベンション開催支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交流人口の拡大や賑わいの創出を目的に、首都圏・関西方面から大学生の合宿誘致や市内での企業ミーティングなど、コンベンション開催団体に対して助成を行っていますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実績は2件にとどまりました。 <p>【観光・物産宣伝事業】(施策22①再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、よっしゃ来い!!CHOUROKUまつりや戦国のろし祭り、漁火まつりは中止となりましたが、じゃんこい魚津まつりを縮小して開催した代替イベントや魚津の朝市、イルミラージュUOZUの開催に支援の助成を行い、観光誘客に努めました。 魚津がロケ地となった映画1作品のPRキャンペーンに協力し、ロケ地マップ及びパンフレットの配置やポスター掲示を行い、市内施設で行われた上映会の開催に協力しました。 		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
観光満足度	%	63.7	54.3	64.5 71.4	64.8	65.2	65.6	66.0	70.0
延べ宿泊者数	千人	295	178	395 190	295	301	307	314	323 (8年度320)

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和3年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 受入体制整備事業	21,321,610	19,221,160	2,100,450	A	商工観光課
2	一般会計	○ 受入体制整備事業(魚津の宿泊割引事業)	65,000,000	63,741,060	1,258,940	A	商工観光課
3	一般会計	○ 観光・物産宣伝事業(施策22①再掲)	(11,355,390)	(8,711,485)	(2,643,905)	A	商工観光課
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			86,321,610	82,962,220	3,359,390		

基本事業概要シート④

施策 No.	22	施策名	観光の振興
基本事業名	④広域観光ネットワークの振興		
基本事業の目的(意図)	広域観光圏での連携を強化し、魅力ある周遊ルートやモデルプランを作り、滞在型観光を促進します。また、様々な交流都市との観光相互連携活動を推進します。		
令和3年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【広域観光連携事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新川地域観光開発協議会(事務局:魚津市商工観光課)において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により従来型の首都圏や関西等における観光宣伝活動の代替事業として、県内観光地やショッピングモールでの外向宣伝やアンケート調査、県外施設において委託による地域の特産品販売や観光PR、及び大阪方面におけるオンライン商談会等を行いました。 ・にいかわ観光圏協議会(事務局:黒部市商工観光課)に参加し、海外現地旅行会社とのオンライン商談会や選ばれる観光地となるためのオンライン研修会の開催等を行いました。 ・とやま観光推進機構と連携し、観光資源磨き上げ支援プロジェクトとして、「紅ズワイガニ」のブランド力向上の検討を行ったほか、県内の観光先進地への視察や観光誘客ニーズ調査等を行いました。 ・富山湾岸サイクリングは悪天候により中止となりましたが、令和4年度のメイン会場の誘致に努めた結果、市制施行70周年を迎える魚津市に決定しました。 ・観光交流都市の飯山市と連携し、相互の広報誌を活用したイベント情報の発信など観光PRに努めました。 		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
新川地域宿泊者数	千人	704	396	845 395	702	712	722	733	774 (8年度743)
市内外国人延べ宿泊者数	人	13,503	2,696	22,000 1,113	5,000	13,500	14,000	14,500	24,300 (8年度15,000)

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和3年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	○ 広域観光連携事業	5,891,000	5,421,000	470,000	A	商工観光課
2	一般会計	○ 受入体制整備事業(施策22③再掲)	(21,321,610)	(19,221,160)	(2,100,450)	A	商工観光課
3	一般会計	○ インバウンド等推進事業(施策22②再掲)	(6,800,000)	(6,625,560)	(174,440)	A	商工観光課
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			5,891,000	5,421,000	470,000		

施策 No.	22	施策名	観光の振興
令和3年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	【①地域資源のブランド力向上】 ◆裾野の広い観光産業を強化し、市内の観光消費を拡大するには、観光産業の高付加価値化を図ることが必要です。令和3年度の観光消費額は43億5千4百万円と新型コロナウイルス感染症拡大の影響もありましたが、令和2年度より1億6千万円増加しました。なお、コロナ禍前の令和元年度と比較すると29億4千7百万円減少しています。 ◆市民が地域資源に誇りを持ち、情報発信力や来訪者の満足度を高めるためには地域資源の磨き上げやブランド力の向上が必要です。 ◆とやま観光推進機構と連携し、本市の観光資源「食」の磨き上げを行い、PRIに努めています。 【②地域の魅力発信体制の整備】 ◆魚津市の認知度を向上させ観光振興を効果的に実施するためには、様々なデータを分析・活用し、観光客の多様なニーズに合わせた情報インフラや魅力発信体制の整備が必要です。 ◆令和3年度の観光客の入込数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があったものの923千人(昨年比42千人増)と増加しますが、コロナ禍前の令和元年度と比較すると613千人の減少となっています。 ◆観光協会のホームページは新型コロナウイルス感染症拡大の影響等も推測されますが、令和3年度のアクセス数は123千件(昨年比2千件減)と減少しており、コロナ禍前の令和元年度(314千件)と比較しても大きく減少しています。 ◆市フェイスブックに加え、市Twitterを開設したことによりSNSの閲覧件数が増加しました。 【③イベント・受け入れ体制の充実】 ◆新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけに観光事業全般において新しい生活様式を踏まえることが必要とされており、人口減少社会の中、交流人口を拡大し地域経済を維持していくためにも、祭りをはじめとする各種イベントの開催や観光客の満足度を高める受け入れ体制の整備が必要です。 ◆延べ宿泊者数は190千人(昨年比12千人増)と増加となりましたが、コロナ禍の前の令和元年度と比較すると105千人の減少となっています。 ◆令和3年度の観光ガイド登録者数は33名と前年度の35名より若干減少しました。観光ガイドの確保や育成等には、研修等を充実させるなど地道に増やしていくことが重要であり、広報紙等を通じて人員増に努めています。 ◆魚津駅前観光案内所の利用者について、令和3年度は新型コロナウイルスの影響により7,583人(令和2年度8,246人、令和元年度10,393人)と減少しましたが、来訪者が気軽に訪れやすい環境整備や情報発信に努めるとともに、引き続き、来訪者の満足度の高い観光案内に努めています。 【④広域観光ネットワークの振興】 ◆新川地域(2市2町)の宿泊者数は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和3年度は395千人(昨年比1千人減)と減少しており、コロナ禍前の令和元年度(702千人)と比較しても大幅に減少しています。 ◆市内における外国人の宿泊者数も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和3年度は1,113人(昨年比1,583人減)と減少しており、コロナ禍前の令和元年度(13,503人)と比較しても大幅に減少しています。 ◆2024年3月の北陸新幹線敦賀駅延伸や黒部峡谷新観光ルートの一般開放等を控え、関係人口を創出し、本市における長期滞在環境を整えるためにも、今まで以上に富山県や新川地域、交流都市等の連携強化が必要です。		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (令和3年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述)		
【基本事業共通】 ◆令和4年度から8年度までの5年間を期間とする「第3次魚津市観光振興計画」を策定しました。 【①地域資源のブランド力向上】 <観光・物産宣伝事業> ◆とやま観光推進機構と連携し、観光資源磨き上げ支援プロジェクトとして、「紅ズワイガニ」のブランド力向上の検討を行ったほか、県内の観光先進地への視察や観光誘客ニーズ調査等を行いました。 <産業観光推進事業> ◆市内事業所の魅力を伝える産業観光ツアーについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催には至りませんでした。 【②地域の魅力発信体制の整備】 <インバウンド推進事業> ◆新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、渡航しての現地PR等は中止とし、多言語版観光情報サイトへの掲載・情報発信や誘客用プロモーション動画の制作、SNSを活用した広告配信等、受入体制整備を軸に事業を実施しました。 ◆地域活性化起業家として交流プログラム制度を活用し、民間旅行会社から社員1名を受け入れ、観光専門分野のノウハウや知見や、人脉を活かして、台湾旅行会社への教育旅行ニーズ調査やインバウンド導入準備調査として旅行商品造成担当者を招聘し、現地視察を行いました。 <受入体制整備事業> ◆平成28年度に策定した第2次魚津市観光振興計画のもと、計画的な観光の推進や各種団体等の連携強化、受入体制の整備に努めました。 <シティプロモーション事業> ◆市公式Twitterを開設し、市民の情報へのアクセス方法を増やしました。 ◆交流人口の増加を図るため、約3分間のシティプロモーション動画を制作しました。 【③イベント・受け入れ体制の充実】 <受入体制整備事業> ◆東山円筒分水槽への誘導をスムーズにするため、市内5カ所に日本語と英語に対応した誘導案内看板を整備しました。 ◆新型コロナウイルス感染症の影響で著しく減少している市内宿泊施設の需要喚起のため、観光誘客促進事業として感染予防対策を実施する宿泊割引事業(魚旅キャンペーン)を行いました。 ◆サイクリストが快適で安心して宿泊できる環境整備を促進するため、県が実施する「サイクリストに優しい宿」の認定を受け、かつ「サイクリストに優しい宿整備補助金」を活用する市内宿泊施設に対して追加で補助金を交付しました。併せて市内の公共施設を中心に地産産木材を活用したサイクルラックを整備しました。 <観光・物産宣伝事業> ◆新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、多くのイベントが中止となりましたが、「じゃんとこい魚津まつり」を縮小した代替イベントや魚津の朝市やイルミラージュUOZUの開催に支援を行い、既存イベントの開催維持・継続や観光誘客等に努めました。			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
【基本事業共通】 ◆コロナ禍の影響はありますが、第3次観光振興計画に基づき各種事業を実施します。 【①地域資源のブランド力向上】 ◆とやま観光推進機構と連携し「食の磨き上げ支援プロジェクト」を実施します。併せて紅ズワイガニのブランド力向上等を目指し、茹でガニをそのままの姿で食卓で楽しめるような実証事業や、市内飲食店の更なる賑わい創出等を目指し、飲食店連携賑わい創出事業に取り組みます。 ◆本市の歴史や文化、産業、水循環の恵みによる上質な資源を活用し、産業観光や農村漁村の文化体験等と組み合わせた旅行商品の開発や販売を推進します。 ◆本市の特色を活かした産業を幅広く知ってもらうため、産業観光ツアーに取り組みます。 【②地域の魅力発信体制の整備】 ◆観光協会や観光案内所に支援を行うとともに、魚津駅前観光案内所をの風魚津駅構内に移転し、観光客等がより利用しやすい案内所の整備に取り組みます。 ◆人流分析システムや携帯電話GPS機能等を活用し、市内観光施設等の入込数や年代、性別等の観光データを収集、分析し、今後の観光戦略に活かします。 ◆各SNSの特性を活かし、情報が必要としている人へ、その人がアクセスしやすい方法で情報を発信します。 ◆前年度に制作したシティプロモーション動画を広告としてセグメント配信することにより、効果的に魚津をアピールします。 【③イベント・受け入れ体制の充実】 ◆専門家による勉強会やワークショップを通じて観光関連事業者間の連携強化やスキルアップを図り、将来的なDMO(※)の設立を検討しながら、地域の稼ぐ力を引き出すためにも観光協会の組織強化に取り組みます。 ◆観光ガイドの確保と育成に努め、旅行者の満足度向上を目指します。 ◆コロナ禍で落ち込んだ国内旅行需要を喚起し観光事業者への支援につなげるため、市内の宿泊施設や飲食店・物販施設等で利用できる電子地域通貨MiraPayを販売し、域内消費の拡大を図ります。 ◆市制施行70周年を迎えるにあたり、「じゃんとこい魚津まつり」をはじめとする各種イベントは、コロナ禍に対応し未来へ繋ぐことを意識しながら開催することで観光客の誘客や地域活性化に取り組みます。 ◆ナショナルサイクルルートや市内のサイクル周遊ルートを活用し、観光客等に気軽にサイクリングを楽しめるよう観光整備を行い、併せてサイクリングコースの利用促進に向けた事業に取り組みます。 【④広域観光ネットワークの振興】 ◆新川地域観光開発協議会及びいかわ観光圏の役割を明確にし、効果的な連携体制のもと総合観光イベントの出展や広域周遊観光の促進に努めます。 ◆関係人口の拡大を図るためにも、国内外を問わず交流都市等との連携強化に努めます。 ◆インバウンド推進事業は新型コロナウイルス感染症の影響により、従来型の誘客事業等が困難な状況ではインバウンド需要回復後の準備期間と捉え、受入体制の整備や情報発信など、できる範囲の事業を工夫しながら実施し、いつでも誘客事業等に対応できるよう取り組みます。 ◆新型コロナ終息後を見据えたインバウンド対策には広域的に取り組んでいく必要があり、滞在型、周遊型観光メニューの開発や充実を図ります。 (※)DMO…官民の幅広い連携によって観光地域づくりを推進する法人(Destination Management/Marketing Organization)の略			